

平成24年6月10日(日) 晴れ

大和川河川事務所と斑鳩町は、昭和町自治会約70名の皆様に、大和川治水対策と防災をテーマにした出前講座を、昭和町自治会館にて開催いたしました。

斑鳩町役場からは避難等について、大和川河川事務所からは昭和57年洪水の状況を中心に、大和川流域の治水の歴史や亀の瀬地すべりなどについて、それぞれ説明を行いました。

### 出前講座の様子

大和川、竜田川のすぐそばの地区の住民の方々ということもあり、洪水に対する意識が非常に高く、皆さん熱心に聞いていただきました。

大和川にとって最大の洪水のひとつである昭和57年8月の洪水については、当時の状況を記憶されている方も多く、当時の写真アルバムをご覧になって、当時を思い出し改めて洪水の恐ろしさを実感されているようでした。

また下流にある亀の瀬地すべり対策についての質問も多数あり、関心の高さが伺えました。

最後にハザードマップを見ながら、この地域での避難場所・経路について話し合いました。高齢者の方の割合が増えている中で、避難場所までの距離の問題や、インターネット・メールが使えない方々への周知伝達方法などについて、住民の方々の不安が強いと感じました。



大和川河川事務所からは大和川の治水の歴史、昭和57年の洪水や最近の治水対策について説明しました



昭和57年洪水のアルバムを回覧し、当時の被害の状況をご覧になっていただきました

### 避難・防災について、活発な意見交換を行いました

- ・避難場所が遠い。まずは高台へ逃げた方がよいのではないか。
- ・スピーカーからの放送が聞こえにくい時がある。メール・ネットによる情報は高齢者には難しい。
- ・亀の瀬が崩れた場合に発生する被害の大きさを教えてほしい。

etc...